

国立大学法人京都大学入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和7年9月11日(木) 京都大学本部棟1階ミーティングルーム	
委員	委員長 木谷 庸二 (国立大学法人京都工芸繊維大学 教授) 委員 福井 智士(公認会計士) 委員 志部 淳之介(弁護士)	
審議対象期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考) 今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし。
建設工事(小計)	5件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定適用対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>議事に先立ち、出席者の紹介、施設部長の挨拶、委員会の概要説明</p> <p>【前回の委員会での議論等を通じて問題提起された事項について、京都大学側より報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>本学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について（報告）</p> <p>【京都大学側より、令和6年4月から令和7年3月に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について、入札・契約方式ごとに説明・報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>【京都大学側より、委員会による抽出経緯の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【抽出案件の審議】</p> <p>建設工事：一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） ○京都大学（中央他）工学部総合校舎等空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約締結理由書において、「再度入札公告を行う時間的余裕がなく、不落随意契約の協議を行うこととした。」とあるが、緊急性の高さはどれくらいか。 ・ 入札を2回で打ち切り、随意契約している理由は何か。 ・ 入札辞退者の辞退理由が、「積算が間に合わなかった。」とのことだが、積算期間はどれくらい設けていたのか。積算期間を長く設けることで、競争性が確保できたのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部、故障している空調機があり、その他の空調機も耐用年数を超えており、故障するリスクが極めて高いため、早急に更新する必要があった。 ・ 入札執行回数は原則2回までとしている。2回目の入札を終えた時点で、予定価格と入札金額に乖離があったため、入札を打ち切り、不落随意契約の協議を行うこととした。 ・ 積算期間については、建設業法で定められている期間より長く設けていたが、積算期間にゴールデンウィーク期間を含んでいたため、メーカーが休日で見積を徴取できなかった可能性がある。

別紙

意見・質問	回答
<p>○京都大学（南部）医学部多目的施設棟新営その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札者が1者であった理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格として「一級建築士事務所の登録を行っていること。」を条件としていたが、この条件が厳しく、入札者が僅少となった可能性がある。また、設計・施工を一括で発注したことも敬遠された要因と考える。
<p>○京都大学（南部）基幹・環境整備（屋外排水設備）工事（その2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札辞退者の辞退理由が、「設計図書を詳細に確認したところ、工事内容に雨水貯留槽の工事が含まれており、参加が難しい。」とのことだが、下請に依頼する等で入札することはできなかったのか。 ・2回目の入札ではあるものの、落札率が100%であったが、予定価格を公表しているのか。 ・辞退理由はどのように確認しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事については業者によって得手不得手があり、当該業者は管更生を得意としているため、経験がなかったこと、下請に依頼してもメリットがないことを理由に辞退されたと考える。 ・公表していない。 ・電子入札システム上、辞退届に理由を記入する欄がある。理由が記入されていない場合は、電話等でヒアリングを行っている。
<p>○京都大学（宇治）マイクロ波送受電実験棟外壁等改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査において、直接工事費が低廉となった理由の記載はあるが、共通費が低廉となった理由は何か。 ・今後の積算時の参考とするために、共通費が低廉となった理由も調査結果に記載するのがよいのではないか。 ・低入札価格調査の実施概要において、資料1～資料9との記載があるが、これらの資料を確認したうえで、可否を判断しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格の積算において、規模が小さく工期が短い工事は公共建築工事積算基準で算定すると共通費が高めに設定される傾向にある。また、建物の構造がシンプルであるため、施工しやすく無駄な経費が発生しないと判断し、企業努力で共通費を可能な限り抑えたと考える。 ・承知した。 ・資料については、すべて確認したうえで判断している。
<p>建設工事：随意契約方式 ○京都大学（南部）がん免疫総合研究センター Bristol Myers Squibb棟展示室取設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約の理由について、もう少し詳細に説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附金での事業ということもあり、寄附者や教員の意向を設計に細かく反映する必要があり、設計業務を行った業者でなければ工事を施工することが困難であった。

別紙

意見・質問	回答
<p>・本工事にかかる設計業務については、一般競争入札又は随意契約のどちらの方式で業者を決定したのか。</p> <p>・当初から設計・施工一括で発注することはできなかったのか。</p> <p>・予定価格は適正なのか。市場価格調査は行ったのか。</p> <p>設計・コンサルティング業務：簡易公募型プロポーザル方式（拡大） ○京都大学（南部）総合研究棟（環境・生存・共生イノベーション拠点棟）新営（建築）設計業務</p> <p>・見積徴取を4回実施しているが、複数回実施後に次点の者に移る等、見積徴取回数を減らす工夫はできないのか。</p> <p>・技術提案書の評価にあたり、基準はあるのか。</p> <p>・評価項目は文部科学省で決められているのか。</p> <p>総括</p> <p>・今回の審議対象案件については手続き面では特段の問題はなく適切に処理されていた。</p> <p>その他</p> <p>【京都大学側より、今回の審議対象期間においては再苦情の申立て及び同審議依頼はなかったことを報告、令和8年4月からの委員について、各委員に引き続き委員再任のお願い、次回開催予定などの説明】</p> <p>・特になし。</p> <p>終了</p>	<p>・設計業務については少額であったため、複数者に見積をとり、随意契約方式で業者を決定した。</p> <p>・当初は、工事については一般競争入札を行う予定で設計業務を発注していたが、設計を進める中で、先述の随意契約理由のとおり一般競争入札に適さないことが判明した。</p> <p>・複数者に見積をとり、適正であることは確認している。</p> <p>・プロポーザル方式の性質上、技術提案書の特定後に見積徴取を実施することとなっており、本学としても文部科学省に倣って運用しているところである。文部科学省とも相談をし、解決策がないか検討していく。</p> <p>・委員会で審査基準を決定し、担当者によって評価に変動がないようにしている。</p> <p>・文部科学省の要領等を準用し、各大学で決定している。</p>